

(6) 青少年健全育成の推進

① 明るい青少年健全育成事業

<平成28年度実績>

- 子どもたちの健全育成を図るため、小さな村の利点を生かし、家庭や地域の教育力を高め、絆を深める活動を推進した。
- ・広報、啓発活動……標語・ポスター作品を募集し、優秀作品の掲示、看板の設置、親子芸術鑑賞会で啓発資材として花の苗の配布等
- ・学習活動……小中学校家庭教育学級の開催等
- ・ふれあい活動……親子ふれあい教室（料理、木工、社会見学、バルーンアート）、親子芸術鑑賞会（年1回開催）等
- ・ボランティア活動……とびしま・ペアレンツ（おやじの会）活動
（平成29年3月末現在72名の登録 ※平成22年7月設置）
- ・「すこやか子育てセミナー」の実施
「小さな村のキラリと光る親子音楽会」をクリスマスの時期に実施した。

<点検及び評価>

- 親子ふれあい教室では、地元の団体や企業と連携した教室を開催し、地域とのつながりが深まり、参加者からも高い評価を得ることができた。
- とびしま・ペアレンツは、北拠点避難所での避難所見学等を行い、情宣活動に努めている。
- 村内で活動する子育てネットワーカーが事業を企画・運営し、家庭や地域の教育力を高めるために尽力している。

② 平和推進事業

<平成28年度実績>

- 中学生代表を原爆被害地である広島市へ派遣することで、平和の尊さを学習・実感させ、またその体験を発表することで飛島学園生徒の平和意識の向上を図った。8月には原爆写真等のパネル展示をし「平和推進の村」宣言に基づき、村民に広く平和の尊さの理解を求めた。
- ・中学生の代表者については、飛島学園9年生を対象に参加者を募集し、選考委員会において派遣者を決定した。

団員：6名、引率者2名

派遣先：広島市平和記念公園（平和記念式典、献花献水慰霊式に参加）
ほか

期間：8月5日（金）～6日（土） 2日間 ※報告書：200冊作成

<点検及び評価>

- 被爆体験者からの話を聞き、悲惨な「戦争」というものを風化させず、再び戦争を繰り返さないよう努力しなければならないこと等、「ヒロシマ」を訪れた参加生徒にとって、これからの生き方や進路を考える貴重な体験となった。また、広島派遣報告会を通して、「ヒロシマ」の願いを学園生徒及び保護者へ広く伝えることができた。

2 生涯学習・スポーツ・文化

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進事業

<平成28年度実績>

○村内 23 地区から推薦された生涯学習（スポーツ）推進員が、「学習部会」「スポーツ部会」「広報部会」に分かれて、視察研修の企画・運営や生涯学習情報誌「ほうれんそう」の編集・発行等を行った。また、村民体育祭やふるさとフェスタでのイベント開催などを通して、生涯学習に対する意識の向上を図った。

・キラリとびしまのびのび体操の作成に関わり、村民への普及を図った。

○様々な活動を通して、推進員自らの見識を広めることができた。また、広く村民とふれあう活動を開催することで、村民の生涯学習の一役を担うことができた。

・生涯学習推進員（村内 23 地区に各 1 名委嘱）……任期 2 年

・生涯学習情報誌「ほうれんそう」……年 2 回発行 村内全戸・企業に配布（広報とびしまに差込）（10 月号：8 頁、3 月号：10 頁/各 2,000 部印刷）

・へきなんたんトピアで「環境に配慮した火力発電所」についての研修を行い、エネルギーと環境について考えるきっかけ作りをした。

○スポーツ推進委員会

・委員数 8 名

・定例会開催 6 回

・わんぱくスポーツランド 11 回実施 延参加者 286 名（小学生）

、内容……うちわバドミントン、ランニングコーディネーション、ドッジボール等を行った。

・キラリとびしまのびのび体操作成及び普及活動 13 回

・その他研修会等

全国スポーツ推進委員研究会 1 名

東海四県スポーツ推進委員研究会 7 名

愛知県スポーツ推進委員研修会 3 名

西尾張スポーツ推進委員研修会 5 名

海部地区スポーツ推進委員研修会 2 名

海部南部地区スポーツ推進委員研修会 4 名

<点検及び評価>

○村民の生涯学習の振興を図るため、各地域の実態把握に努め地域の学習活動を推進した。村や各種団体が実施する事業に協力することで、村民へ生涯学習（スポーツ）推進員の活動を浸透させることに寄与した。

○スポーツ推進委員の自主事業として、小学生を対象とした「わんぱくスポーツランド」は、月 1 回の開催であるが、昨年より参加申込者数が増えており、この事業の関心が高いことがうかがえる。

○スポーツ推進委員と食生活改善推進員と共に、飛鳥版オリジナル体操「キラリとびしまのびのび体操」の披露、普及、推進にあたり、多くの場面で活躍をした。

② 文化振興事業

<平成28年度実績>

○ふるさとフェスタ

村民に学習成果等の発表の場を提供することで、文化・芸能に対する資質の向上を図り、また飛島村の郷土芸能や友好都市の郷土芸能を鑑賞することで知識、教養を高めるとともに、友好都市との交流を深めた。

- ・開催日 11月3日(木・祝)～11月6日(日)
- ・文化祭、芸能祭、菊華展 延参加者 3,427名

○飛島村郷土芸能祭(第31回国民文化祭・あいち2016)

愛知県で第31回国民文化祭が開催されたため、県からの補助を受け、飛島の郷土芸能である元松神楽太鼓、海東流古政神楽太鼓、服岡獅子舞を披露し、友好都市である豊根村の花まつり、南種子町の安城踊りを披露した。

- ・開催日 11月5日(土)
- ・郷土芸能祭開催 延参加者 707名

<点検及び評価>

- 村民及び在勤者の生涯学習の総合的な発表と交流の場として農業祭・健康福祉祭と共同で開催しているが、今後とも催事参加者の分散を回避するために産業、福祉、芸術等の分野と連携を図り、村民が一丸となれる催事としていくことが求められる。
- 国民文化祭を通して、友好都市との交流を行い、親睦と連携を深めることができた。このような交流を今後も続けていくことが求められる。

③ いきがい教育推進事業

<平成28年度実績>

○日本一の健康長寿の村づくりの中で、これからの人生を意義あるものにするための一助となるよう、村内在住の50歳、60歳、70歳を対象に「年輪のつどい」を開催した。

- ・開催日 平成29年2月26日(日)
- ・参加者/対象者：50歳：11/43名、60歳：32/69名、70歳：35/75名

<点検及び評価>

- 村民の生きがいづくりと、親睦を深める場づくりのための事業として、各年代の代表により実行委員会を組織し、村補助金により運営した。運営及び進行全般に関しては実行委員会で計画検討しており、親睦交流会として成果があった。
- 50歳の参加者率が悪いことから、対象者の変更などを検討する必要があると思われる。

④ 地域づくりコミュニティ推進

<平成28年度実績>

○村在住(中学校卒業で村外転出した希望者を含む)の新成人を対象として、成人式(式典、記念撮影、懇親会)を行った。

- ・開催日 平成29年1月8日(日) ※「成人の日」前日の日曜日に開催
- ・対象者 44名 出席者 29名

<点検及び評価>

- 式典の運営企画を新成人の代表者が中心となって実施した。小中学校在
校時の恩師を迎え、現村在住者や就職・就学等で村を離れて暮らす成人
者の親交を深める交流の場となった。今後も村の将来を託す二十歳を迎
えた新成人を祝う成人式を実施する。
- 平成 29 年度より、成人式をより一層新成人にとって意義深いものにする
ため、実行委員会を立ち上げ、新成人の代表が手作りの成人式を企画・
運営していく体制作りをしていく。

⑤ 社会教育施設活用促進事業

<平成 28 年度実績>

- 「生きがい学習講座」各種教室を開催し、社会教育センターの利用促進を
図った。

・ガーデニング講座	1 回 (定員 20 名)	計	20 名受講
・プリザーブドフラワーアレンジ講座	1 回 (定員 10 名)	計	5 名受講
・将棋講座	8 回 (定員 20 名)	計	9 名受講
・己書講座	4 回 (定員 20 名)	計	7 名受講
・料理講座	2 回 (定員各 10 名)	計	11 名受講
・囲碁教室	8 回 (定員 20 名)	計	7 名受講

<点検及び評価>

- 各種教室を開催し、社会教育センターの利用促進を図っている。
- 毎年、講座内容の見直しによる充実を図っているが、参加希望者が少な
く開催出来ない講座があったので、教室の開催日程等の検討をするとな
どもに、村民に広く知ってもらえるように広報活動に力を入れたい。

⑥ 友好自治体交流事業

<平成 28 年度実績>

- 飛島村は、平成 28 年 6 月 2 日に鹿児島県南種子町と友好都市自治体協定を
結んだ。両町村の住民の相互交流と相互理解を図る取り組みの一環として、
学園 6 年生 10 人が交流団として平成 28 年 12 月 23～25 日の三日間、
南種子町への研修に参加した。
- 事業全体を通して、ねらいである①視野を広げる②飛島の良さを再発見③学
ぶ楽しさを知るの 3 点を考慮し、参加した児童の学びが深まるように努めた。

<点検及び評価>

- 児童たちは、ねらいをしっかりと理解し、応募審査会から事後報告会まで飛
島村の代表としての意識を持って事業に参加することができた。
- 28 年度が一年目の事業であったため、実施要項や応募審査会要項の作成、学
園の教諭との打ち合わせ、研修三日間の日程の調整、事前研修の内容などの
計画・立案が十分にできないところがあった。今年度は、学園の意向を事業
に反映させると共に、「子どもを育てる」という視点を持ち、教育委員会と
学園との協力体制を作っていく。

(2) 生涯スポーツの推進

① 各種大会開催事業

<平成28年度実績>

○村民体育祭

・競技種目として、地区対抗競技、一般参加競技、各種団体参加競技、アトラクション競技など22競技を実施した。

・実行委員会、競技等検討委員会 各2回

・実行委員会及び参加団体代表者会 1回

〔 開催日 10月10日(月・祝)
場 所 飛島学園運動場
参加者 3,014名 〕

○愛知万博メモリアル第11回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

・愛知県内全市町村が参加する大会へ、村選手団を派遣した。

・村推進委員会 1回

・競技結果 町村の部 12位(モリコロ賞)(参加16チーム)

〔 開催日 12月3日(土)
場 所 愛・地球博記念公園内、周回コース
選手団 監督以下21名 〕

<点検及び評価>

○村民体育祭は、幼児から高齢者までの幅広い年代が参加する毎年の恒例行事として村民に定着している。村をあげてのスポーツイベントとして住民のニーズが高いと考えられる。しかし、今回は、雨天で翌日へ順延されたことにより地区対抗競技等、一部競技への参加者の選抜について支障が出た地区もあるので、今後の競技について競技等検討委員会での競技内容等のさらなる検討が必要である。

○キラリとびしまのびのび体操は、スポーツ推進員、食生活改善推進員、生涯学習(スポーツ)推進員の協力により各種イベントで多数の住民の参加により披露することが出来た。

○駅伝大会は、愛知県内の全市町村が参加する親睦大会としての意味合いがあることから参加しているが、人口規模の小さな自治体ほど参加選手を集めるのに苦慮しているのが現状である。飛島村では、参加選手の応募が少なく、特に高校生の選考に苦慮している。今後は、以前走った方も含め、声掛けをして選手を集めていく等の対策が必要である。

② スポーツ教室開催事業

<平成28年度実績>

○少年少女体力づくり教室(対象;小学生)

・期 間 4月10日(日)~6月5日(日)(全10回)

・教 室 サッカー、野球、テニス、ミニバスケットボール

・参加数 35名

○バレトン&ヨガ教室

・期 間 5月24日(火)~9月13日(火)(前期15回)

10月11日(火)~1月31日(火)(後期15回)

・定 員 前期30名・後期30名 ・参加数 前期19名・後期21名

○ラージボール教室

- ・期 間 9月14日(水)～11月30日(水) (全10回)
- ・定 員 15名 ・参加数 13名

<点検及び評価>

○少年少女体力づくり教室は、子どもたちがスポーツに触れる機会を設け、各スポーツの基本を教え、スポーツや運動への興味・関心を高め、スポーツ少年団への加入促進を図ることを目的に行っている。しかしながら近年は、少子化に加え、社会構造の変化等によりスポーツ少年団への加入率も減少している。今後はより一層魅力ある教室にして参加率向上を図っていく必要がある。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

① 文化財管理事務事業

<平成28年度実績>

○大寶章司様から寄付していただいた紙幣等の目録を作成した。

② 地域民俗芸能伝承事業

<平成28年度実績>

○元松神楽太鼓保存会、海東流古政神楽太鼓保存会、服岡獅子舞保存会に運営費を助成する事で地域文化の振興・継承を図る。

<点検及び評価>

- 民俗芸能保存団体が行う民俗芸能の伝承及び保存のための活動に要する経費及び団体の運営に要する経費を助成している。また、郷土芸能祭を機に本年度から服岡獅子舞保存会も復活し、今後も伝統芸能を継承するため各種の援助を継続していく必要がある。
- 寄付していただいた紙幣・貨幣を郷土資料室で常設展示をし、村民に広くその歴史的価値を知ってもらおうと共に、子どもたちの学びを深めるために、学校の授業で利用できるようにしたい。

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

① 中央公民館管理事務事業

<平成28年度実績>

○掲揚ポール設置工事

・正面玄関に掲揚ポールを設置し、駐車場の各照明に水平ポールを設置した。

○自動ドアエンジン設置改修工事

・正面玄関の自動ドアのエンジンを取り替えた。

○ロビーモニター改修工事

・中央公民館の使用状況を映すモニターを壁掛けに変更し、1階エレベーター付近にも壁掛けモニターを設置した。さらに、チラシやテロップも表示できるようにした。

○防犯カメラ改修工事

・中央公民館及びホールに防犯カメラを設置した。

○ホール屋上防水等改修工事

・雨漏りを改善するため、ホール屋上の防水シート取り替え等を実施した。

<点検及び評価>

- 総合社会教育センターは、昭和 57 年に建設されてから 30 年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、今後も施設の長寿命化に必要な調査を実施し、補修計画を作成し、順次補修工事等を行い、利用者の安全性・快適性の確保を図っていく。
- インターネット普及に伴い、使用申請の利便性を高めるため、飛島村ホームページから施設利用の予約状況を確認したり、各施設の利用申請をしたりする等、予約システムの見直し・改善を視野に入れていきたい。

② 渚コミュニティーセンター運営維持管理事業

<平成 28 年度実績>

- 渚コミュニティーセンターの管理・運営委託（指定管理）
 - ・地元の渚地区公民館運営委員会へ施設を適正かつ円滑に管理するため、指定管理者委託を行っている（平成24年4月1日～平成29年3月31日まで）

<点検及び評価>

- 渚地区公民館運営委員会への指定管理者委託により、渚地区の住民が会合等に利用しやすいよう運営及び維持管理を行っている。毎月 2～3 回の利用があり、地区住民には十分に利用されていると考えられる。

③ 地区公民館維持管理助成事業

<平成 28 年度実績>

- 地区公民館（15地区）の維持管理費及び施設整備に係る運営経費の補助
 - ・地区公民館の適正な管理及び運営費の助成

<点検及び評価>

- 地区住民の連帯感と心豊かな住みよい地域社会をつくるため地区公民館の維持管理に対する助成は必要であり、今後も継続していく必要がある。

④ 公民館分館管理事務事業

<平成 28 年度実績>

- 内容；設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）及び、夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託

※喫茶室賃貸

- 分館防球ネット等改修工事
 - ・テニスコート及び防球ネットを撤廃し、駐車場とした。

<点検及び評価>

- 公民館分館は、昭和 53 年に建設されてから 35 年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいる。また、避難所としての機能を維持するために、改修工事を行い、利用者の安全性・快適性の確保を図っていく。

⑤ 社会体育施設管理事務事業

<平成 28 年度実績>

- 内容；設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、浄化槽）及び施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託
- 東グラウンド浄化槽制御盤改修工事 ・浄化槽制御盤取替

<点検及び評価>

○社会体育施設の多くは設置後年数が長いこともあり、老朽化による修繕が増加するものと考えられる。通常の運営に係る経費も含め、安全・安心に利用できる施設として管理していくとともに長期的な修繕等の計画を策定していく。

⑥ 温水プール維持管理事務事業

<平成28年度実績>

【一般】※子ども水泳教室、シルバーフィットネスを含む

年度	利用者数	日最高	日平均	開館日	累計
26	79,144人	1,648人	281人	282日	1,613,953人
27	88,288人	1,654人	300人	294日	1,702,181人
28	90,366人	1,790人	309人	292日	1,792,547人

・プール利用カード発行による無料開放（小・中学生 計1,976人）

期間：5月11日～8月31日（中学生）

5月13日～8月31日（小学生）

【飛島学園水泳（体育）授業】（担当：教育課）

区分	回数	延べ参加者数
小学校（着衣泳を含む）	62回	2,032人
中学校	21回	655人

○主な施設設備・工事

- ・バイブフロア取替工事、真空式温水ヒーター2号機補修工事を実施した。
- ・プール内諸設備の取替及び修繕を実施した。

（MIOX装置起動用レベルスイッチ、25m用熱交換器、シャワーヘッド、Bシステム用塩素注入ポンプ、ポータブル残留塩素計、真空式温水ヒーターバーナー用モーター、照明器具、屋根テント）

○危機管理対応訓練の実施

- ・休日（土、日、祝日）にすこやかセンター内で開館している施設が、消防法に基づく避難誘導訓練（火災想定）を実施した。

<点検及び評価>

- 温水プールの利用者数は、年間を通して気象・天候に左右されることが多く、特に夏場に集中している。冬場の利用促進には困難な状況であるものの、施設を利用した事業を開催するなどの村民利用促進策を検討し、秋・冬場の利用啓発に努める必要がある。
- 施設の運営管理には多額の経費が必要となる。コスト削減に努めるとともに、安全に安心して利用できる施設として、水質保全や設備整備を図っていく。
- 平成22年度から水泳（体育）授業に施設を利用し、各時限2名の教員免許状保持講師により、専門的な指導を行っている。飛島学園（小中学校）生徒の水泳能力向上が図られている。
- 総合型スポーツクラブが平成26年度に発足したと同時に実施している子ども水泳教室は、村内の幼児、小学生を対象に3部門に分け9名の講師により、毎週火曜日から土曜日の午後4時30分から実施し、施設を利用されている。
- 各種機器の老朽化・経年劣化による不調に対する、計画的な対応が必要。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

① 社会教育団体活動費助成事業

<平成28年度実績>

○関係団体の事業活動に要する経費を補助し、社会教育事業の推進を図った。

【文化協会】

- ・補助金額 8,500,000円 (加盟団体:29団体) ・登録会員 409名
- ・総会、役員会(7回)、役員研修会の開催
- ・第17回文化協会春の祭典を開催(5月28日、29日)
- ・県文連西尾張部芸能大会に参加(11月27日(日))
会場:大口町民会館 出演団体 詩吟クラブ
- ・各種行事への協力(夏まつり、村民体育祭、ふるさとフェスタ)

【婦人会活動】

- ・補助金額 76,000円 (1地区) ・会員数 14名
- ・地域活動 3回(花いっぱい活動)、ふるさとフェスタに出展

【小学校PTA活動】

- ・補助金額 200,000円

【中学校PTA活動】

- ・補助金額 200,000円 ・家庭教育学級 6回(小中学校共通)

<点検及び評価>

- 各団体とも例年どおりの活動内容が中心であり、特段問題となっている事案はみあたらないが、文化協会の加盟団体である服岡獅子舞保存会は平成21年度より休部となっている。また、平成21年の常任理事会にて、会員要件を「村在住または在勤者が半数以上で構成されていること」と細則を変更したが、会員の増加は見られない。
- 西尾張部芸能大会の開催地が平成31年度に予定されている。(西尾張部での持ち回り、10文化協会加盟)
- 婦人会活動は、現在1地区が継続して活動しているが、婦人教育の推進と地域の活性化を図るため、より一層の団体育成を図る必要がある。

② 社会体育団体活動費助成事業

<平成28年度実績>

○関係団体が行う事業及び運営に要する経費を補助し、社会体育事業の推進を図った。

【体育協会】

- ・補助金額 2,500,000円 ・登録人員 731名
- ・活動内容
 - 総会、役員会 7回
 - 村体育大会の実施 7競技
 - 役員研修会の実施
 - スポーツレクリエーションフェスティバルへの参加
 - 各種大会への参加協力(チャレンジデー、村民体育祭、愛知駅伝等)

【スポーツ少年団】

- ・補助金額 2,000,000 円
- ・団員数 119 名 指導者数 43 名
- ・活動内容
 - 本部役員会 4 回
 - 指導者協議会 3 回
 - 村長杯の実施 4 競技
 - 指導者研修会の実施 1 回
 - スポーツ少年団大会への参加
 - 親子清掃活動 5 団体
 - 村行事への参加協力（チャレンジデー、体育祭等）

【スポーツクラブとびしま】

- ・補助金額 5,000,000 円
- ・運営会員 12 名 一般会員 340 名 賛助会員 57 口
- ・活動内容 総会・理事会 5 回

【全国大会派遣】

- ・インディアカ協会 142,000 円
- ・猪飼小百合 24,200 円
- ・バレーボール連盟 162,000 円

<点検及び評価>

- 村体育協会は現在、育成クラブを含め 16 団体が加盟しているが、登録人数は近年ほぼ横ばいの傾向にある。村の生涯スポーツ推進の重要な組織である団体として、また、住民がスポーツを自主・自立的に生涯スポーツとして行っていくために必要な組織としての支援策や、他種目の掘り起し等を検討していかなければならない。体育協会及び「スポーツ少年団」、「体育協会の育成クラブ」を含め、自立して活動を行う総合的な組織・体制づくりを図って行く必要がある。
- スポーツ少年団は、少子化の影響もあり年々加入者が減少している。今後は、より一層魅力ある少年団として活動を PR する必要がある。
- 「スポーツクラブとびしま」は一般会員が増加した。一般会員の約 6 割が村内在住者で、村内のスポーツ振興及び健康増進に貢献することができた。今後は、更に活動を充実させるためにも、組織を充実させ、他団体のニーズを共有しながら、総合型スポーツクラブの趣旨である「いつでも、だれでも、どこでも」スポーツが出来るような事業の展開が望まれる。

(6) 図書貸出機能の強化

① 図書館管理運営事業

<平成 28 年度実績>

○蔵書状況

年度	図書	視聴覚資料	雑誌	絵画作品	計
26	89,349 冊	7,358 点	4,370 冊	259 点	101,336 点
27	88,706 冊	7,448 点	4,396 冊	259 点	100,809 点
28	87,443 冊	7,247 点	4,396 冊	259 点	99,345 点

○貸出状況

年度	貸出点数(一人当たり)	3月末登録者数	年間貸出点数
26	9.4 (冊・点)	7,042人	65,958冊・点
27	17.45 (冊・点)	4,102人	71,594冊・点
28	17.22 (冊・点)	4,277人	73,654冊・点

○広報活動

- ・広報とびしま掲載(図書館コーナー おすすめの本)
- ・ホームページからの情報発信

○職場体験者の受入

- ・飛島学園7年生3名。

○主な施設設備の修繕

- ・照明器具の修繕。

<点検及び評価>

- あなたの「もっと知りたいをかなえてくれる図書館」を目標とし、次に掲げる項目に配慮した図書館運営を行った。
 - ・新しい本を少しでも早く提供する。
 - ・だれでも気軽に利用できる資料の収集。
 - ・親切な対応で親しめる空間づくり。
- 図書館員の知識向上と職員間の情報共有のため、レファレンスサービスを始め各種セミナーや研修会に積極的に参加する。

② 図書館整備事業

<平成28年度実績>

- 郷土資料の収集や旅行ガイドブック資料更新など、図書資料の充実を図るとともに、図書・視聴覚資料の除籍(一部分)を実施した。
- 現行マークの廃止に伴い、事前に次期マークを取込めれるように現行図書システムの改修を行った。
- 平成26年4月から平成27年3月までの間に利用者に利用いただいた雑誌の無償配布を行った。

<点検及び評価>

- 資料の充実を図るため、効率的な除籍(図書・視聴覚資料)を実施した。

(7) 図書館利用者サービスの充実

① 図書館活動推進事業

<平成28年度実績>

- 親子、図書館読み聞かせボランティア、一般向けの絵本講座開催(年4回)
- ブックスタート実施(年6回)
奇数月の最終火曜日の午後、保健センターの3・4ヶ月児健康診査終了後に、ブックスタートパック(絵本2冊や赤ちゃん絵本冊子等)を手渡し、親子の触れ合いを支援した。
- 「図書館だより」季刊誌発行(年4回)
「きらきら・のびのびつうしん」発行(年12回)

○おはなし会の実施（年 36 回）

4 月、子ども読書の日の記念事業として、図書館ボランティア 3 団体「おはなしぷくぷく」・「コアラのおはなし」・「としょかんおじさんのおはなし」が午前と午後に分かれて、「わくわくドキドキおはなし会」を実施した。

5 月からは、3 グループが毎月 1 回、曜日毎に「おはなし会」を年間 33 回実施した。

○人形劇公演（年 1 回）

図書館と児童館が協力して人形劇を公演し、親子で人形劇を楽しんでいただくことにより、親子間の絆を育むきっかけづくりを支援した。

<点検及び評価>

○今後も継続していけるように、次世代図書館ボランティアを募集していく。

○ブックスタートでは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く体験や、あたたかなメッセージを伝え、絵本を介してゆっくり触れ合うひとときをもつきっかけづくりができた。

○図書館だよりを発行し、広報へ差込や館内、公共施設へ図書館情報として紹介した。また、毎月、「きらきら・のびのびつうしん」を発行し、保育園・保育所の子どもを通じて保護者へ配布したり、公共施設等へ配布したりして啓発に努めた。

○今後も内容を検討し、充実した内容のものを情報発信していく。

○おはなし会終了後には、当日、読んだ絵本を借りていくこともあり、毎月、絵本の貸出数は上位である。おはなし会の効果が表れている。

○人形劇公演当日に、人形劇に関する本を紹介することを検討していく。

3 国際社会

(1) 国際交流の推進

① 中学生海外派遣事業

<平成28年度実績>

○中学生に外国の文化や生活様式を体験させることで、国際感覚を養うことを目的にアメリカ合衆国への派遣事業を行った。アメリカ合衆国の広大さ、強大さ、豊かさ等を実感させるとともに、生徒に「日本の中学生の代表」という誇りと責任をもたせ、親や村民の期待に応えるべく真剣に努力する意欲の向上をめざした。姉妹都市との交流を通じて国際的な友好関係を築き、相互協力の意識をもたせた。

- ・推進本部会で基本計画（案）を作成し、推進委員会において承認した。
- ・村内在住の中学2年生を対象に参加者を募集し、応募審査会で応募者に対する面接を実施し、合格者を決定した。

〔 団 員：35名、引率者：6名
派遣先：アメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市ほか
期 間：8月17日(水)～23日(火)7日間 ※報告書：200冊作成 〕

<点検及び評価>

- 国際化が進展する現代社会で、各分野に適応するための行動力や責任感を体験させることができた。また、郷土を愛する心を育み個々の生徒の資質を伸ばす基盤となった。
- 海外派遣報告会を通して、飛鳥学園生徒、保護者、村民へ派遣事業の成果を報告することができた。

② 国際交流事業

<平成28年度実績>

リオビスタ市交流団受入（中学生12名・引率者2名）：6／9～13

ホストファミリー説明会を開催し、体験者の話を紹介したり、文化展の会場に紹介ブースを設けたりしてPRを行った。

<点検及び評価>

- リオビスタ市より中学生12名、引率者2名を受け入れ、学園の生徒やホストファミリーとの交流を行い、国際的な視野を持つ人間の育成を行うことができた。
- ホストファミリーの登録過程は現在24軒で、村民の理解は高まってきているが、今後もさまざまな場所で本事業をPRして登録軒数を増やしていく必要がある。

【有識者による事務事業点検の評価】

「飛島村教育委員会に関する点検と評価」意見聴取会のまとめ